

## 「遠近を抱えて Part II」展示の情報について

### 7月22日收受資料になぜ記載がなかったのか。

- 作品の存在をあいちトリエンナーレ実行委員会事務局（以下、事務局）が把握した経緯

＜愛知県のあり方検討委員会中間報告から抜粋＞

- ・5月8日：アシスタントキュレーターが、新作映像を制作し、出品したいとの意向があるという情報を入手
- ・6月12日：担当学芸員がDVD受領
- ・7月12日：担当学芸員が映像チェック
- ・7月29日：担当学芸員が展示作業
- ・7月30日：トリエンナーレ推進室長が映像内容確認  
⇒事務局は、7月30日に作品の存在を確認したため、7月22日收受資料に記載がなかった。（事務局に確認済み）
- ・8月4日：知事が一部画面確認

- 10月21日に愛知県に提出した意見陳述要旨の別紙2「検証補充を要望する事項」で以下のように要望。

- ・6月12日、天皇焼損映像について、「テスト映写用DVDが愛知県美術館学芸員に」送られたとあるが、この情報は実行委員会事務局との間で、どのように共有されたのか。